

プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

ほんわか部門

『風にそよぐ鯉のぼりと僕』



キリッと！部門

『思い出の乗馬』



笑顔部門

『最高の笑顔』



CONTENTS

- 表紙 基金フォト部門入賞作品
- P2, 3 わくわくマイルーム
- P4 特集 感謝の気持ちを込めて～プレゼント～
- P5 つむぐーお心主義実践日記ー
- P6 ブレークスルー
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ！インフォメーション

表紙写真紹介

今年度より「本当の気持ちに出会う時」基金が設立されました。

学園全体で募集を募り「笑顔部門」「ほんわか部門」「キリッと！部門」3部門からそれぞれ大賞に選ばれた、みんなの思いの込められた作品ばかりです。

わくわく マイルーム



こんにちは、久根下元信です。
僕は、歌う事、楽器を弾く事が大好き！
いつも僕の心の中にはわくわくした夢や
やりたい事がたくさんなんだよ♪



去年はきらめき祭で好きな曲を演奏したけど今年は、自分のオリジナル曲が作りたくて僕が、歌詞にしたい言葉を言って職員さんと一緒に2曲の歌を作って発表したよ♪



そしてなんと
僕が作った曲をCD
にして販売したよ！
職員さんやお友だち
が買ってくれて、30枚
売れたんだよ♪

僕の歌をもっとたくさんの人に聞いてもらいたくて、なんと、誰でも見られるユーチューブに投稿したんだ！‘明星学園ともだちのわ’で検索すると見られるし、明星学園のホームページからも見る事が出来るからまだまだたくさんの人に見てもらいたいな！



伴走者の声

だけど僕の夢はまだまだ
こんなもんじゃないぞ！
僕の今の夢は…
テレビに出て歌う事！
大きな夢だろう～♪



目標や夢がいっぱいな元信さん！
そんな元信さんの、わくわくするような夢をお手伝いできることに嬉しく思います。たくさんの元信さんの笑顔が見られるようこれからも応援していきたいです。
担任 保科 夏



こんにちは、堀田孝幸です。
日の出グループホームで暮らしています。日中は障がい者支援センター七和の里へ通っています。大好きなミニカーを集めたり週末には自転車に乗って出掛けることが僕の楽しみです!!



七和の里では仲間たちと楽しく作業をしています。みんなとキノコの蓋を綺麗にしているよ



ここが僕が今、住んでいる「日の出グループホームです」新しくて大きくて、綺麗な家です。

七和の里では月に一度、余暇活動があり楽しいレクリエーションやみんなで外食に行ったりしています。



僕の自慢の部屋です。大好きなコレクションに囲まれて生活しています。お気に入りには工事用のミニカーだよ。カッコいいでしょ!これからも沢山集めたいな。



日の出GHの仲間たちと。世話人さんが作ってくれるご飯はとっても美味しいよ。いつも美味しいごはんありがとう。

誕生日には大好きな車のラジコンを購入したり外出では好きなご飯を選んで食べているよ。



伴走者の声

最近の堀田さんは今まで言えなかった自分の気持ちを伝えてくれるようになり、笑顔が増えたように感じます。少し頑張りすぎてしまうこともあります。色々なことを楽しく話してくれるようになりましたね。これからは堀田さんが沢山笑えるように応援していきたいと思います。

担任 半崎



特集

感謝の気持ちを込めて～プレゼント～

好きな人にプレゼントをしたい。日々の生活の中で大切な人への贈り物をしたいという気持ち、誰にでもありますよね。明星学園で生活をするメンバーさんたちも誕生日だったり、バレンタインやクリスマスだったり、旅行に行ったときのお土産だったり…贈る相手は様々ですがそんな感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈ります。今回はそんな学園での日常を紹介したいと思います。

●バレンタインデー

チョコを渡したい人に渡します。
男性メンバーも…もらいたい職員にお願いして、たくさんもらっています。



大好きな星組の古瀬さんに



手作りの友チョコを好きな職員へ

●クラス旅行のお土産

年に一回3人程度のグループで旅行に出掛けます。旅行に行く前にお土産の相談をして好きな職員やメンバーさんにお土産を買ってくる方が沢山います。なかよしの証ですね！



双子の兄にお土産。昔はライバル。今は仲良し。



クラスは離れても、大切に思う気持ちは変わりません。

●誕生日

自分へのプレゼントだけでなく、家族の誕生日も忘れません。



大好きな従姉から



お兄さんからプレゼント

●クリスマス

クリスマスは楽しみにしている方が多いです。プレゼントをもらうだけでなく、ご家族にあげる方も多いです。



両親にクリスマスプレゼント



お父さんとお母さんに感謝の気持ちも込めて

●父の日、母の日



照れくさそうにお母さんにお花をプレゼント



お母さんの祭壇にも

家族の誕生日が近づくと、メンバーさんから教えてくれたりします。日頃の感謝の気持ちを形にして伝えたい。伝わった時のメンバーさんの極上の笑顔。これからもそんな笑顔にたくさん出会えるように、関わっていきたいと思います。

つむぐ

お心主義実践日記

生活支援員

田中尚子

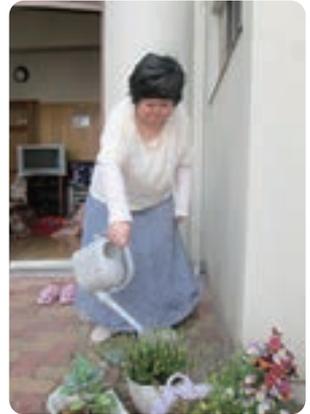
わたしの幸せ、あなたも幸せ！



今回のお心主義実践日記は月組の鈴木順子さんです。居室に居ることが多い順子さんですがとても優しく、笑顔も素敵な順子さん。オシャレが大好きでお父さんが帰省の時に持って来て下さるお花を大切に育てています。

朝なかなか起きることが出来なかった順子さん。当日の服の選択を一緒にしたり、お化粧をしたり、居室の人形を使って関わるとたくさん笑ってくれ、朝起きてくれること、動いてくれることが多くなってきています。そんな順子さんが今楽しみながら進めているのはオシャレとオシャレな部屋作りです。

前担任からオシャレな部屋作りを引き継がれた時、何がいいかな？と相談するとふわふわなカーペットで大笑いする順子さん。相談し、誕生日にいいよカーペットを購入！今までの地味で堅く冷たかったマットとは一転、花柄でピンク色、ふわふわなカーペット。お昼寝をしたり、職員も居室でお付き合いをする時間が増えました。



居室での過ごし心地が良くなってきた頃、順さんはクラスにある人形を居室に持って来るようになります。その頃周りではクリスマスの相談が始まってきていました。順さんにも何がいいかな？と相談します。お部屋の物では頷いてくれますがそこから決まりません。ベッド？テレビ台？聞いていくも無反応…。じゃあ、最近人形集めているし、人形は？とスマホと一緒に見ると、ピンク色の大きい熊のぬいぐるみが見えた瞬間にスマホを持って笑い、画面を触り始めます。じゃあこれ買おう！と言うと大爆笑。クリスマス当日、大きな熊が出た瞬間ニコニコと抱きしめる順子さん。その後、人形集めをする姿もなくなりました。

居室で1日のほとんどを過ごす順子さん。私もそうですが、自分の部屋は第一条件に自分の居心地がいい事、その次に、来てくれた人がどれだけ過ごしやすい部屋か、という所が大事なのかな？と思います。ふわふわのカーペットで自分も職員も過ごしやすい部屋にしてくれ、大きな熊のぬいぐるみは今では大事なコミュニケーションツールになっています。自分の欲しいものを上手く職員との関わりに繋げて行ってくれる順子さん。最近は外から戻って来た時に食堂で待っていてくれる姿も見られるようになりました。そんな優しい順さんと一緒に、これからもオシャレ作りを楽しみたいと思います (^ ^) !



BREAK THROUGH

ブレイクスルー

私を変えたあの日、あの瞬間

『思い出のワンシーン』

虹組 下村 豊子

明星学園にお世話になりあっという間の8年間でした。勤めた当初はうまく支援に向き合う事ができず葛藤の日々が続きました。そんな時、星組に異動なり少しづつ支援にも慣れていったことで自分なりにメンバーさんと向き合っていた思い出します。

そんな中でHさんの担当になることが決まりました。服を着ることが出来ず中庭で排泄をすることが日常のHさんに、どうしたら服が着れるようになるのかな？と日々考えながらHさんの様子を観察しました。いつも怯えるような目で周りを気にしてすぐに逃げ出してしまい、ボディタッチをすることすら困難な状態が続きました。月に一度の外出では手が出たらどうしよう、お店の中で動けなくなってしまったらどうしよう、と不安な中で外出をしていました。今思えば、そんな不安な状態での外出なんてHさんにとって楽しいはずがないと思いました。支援を続け少しづつ信頼関係を積み重ねながらHさんの母の様に愛情を伝えて来ました。いつの間にか手を繋いでも力が入ることもなく、「Hさん、行きましょう」と声をかけると楽しんで外出をおこなえるようになっていきました。泣きながら「どうしてわかってくれないの！」と喧嘩をしたりそんな日々もいい思い出です。



一緒に泣いたり喜んだり寂しい時にはそっと傍に寄り添ってくれるそんな存在ってどうでしょうかね？傍にいてだけでそっと見守っていてくれる、それってとても居心地がいいと思いませんか？

メンバーさんと同じ目線で考える、といいますがなかなか難しいと思います。でも自分が同じことを言われたらって考えるとどうでしょうか？誰でもみんな感情があるんですよね。自分も受け入れ相手の感情も受け入れることができたらいいですよね・・・



クラスが異動になった今でもHさん主催のクリスマス会に招待されたり、いきいきライフのお手伝いに声をかけていただいています。こんな幸せってあまりないですよ。Hさんに励まされているって感じですね。



「仲間づくりの場所」

明星学園・第二明星学園 総園長 宮下 智

20年前、A子さんは自由時間、いつでもY男さんの隣に座った。A子さんには「アイスクリーム、食べるの～」程度の発語があるが、Y男さんは全く話すことができない方だ。隣同士に座っていても、二人にはもちろん会話はない。目を見つめ合わすなんてこともあるようには見えなかった。でも寄って行って座り込むA子さんを拒否もせず逃げもせず、Y男さんはその隣に居続けた。

どう考えても、二人の間には、私たち定型発達者の者の尺度では計ることができない何かが流れているに違いなかった。もちろんA子さんもY男さんも、「どうしても隣同士に座っているの？」の質問には答えようがないから、その質問の答えを埋めるのは私たちの想像力しかなかった。

二人の境遇はよく似ていた。故郷がこの明星学園のある飯田市からとてつもなく遠かった。高速道が整備された今でも車で2時間ほどの距離になるから、30年以上前、入所した当時では一般道で5時間はかかっただろう。結果として帰省はお盆とお正月、面会は、運動会などの行事の時だけだった。さらに、その楽しみであるはずの帰省期間、じょうずに過ごすことができないのが二人の共通点だった。そして、ご両親は言った。「家の子は、家よりも学園の方が好きなんだと思いますよ、家に帰ってきてもちっとも落ち着かないし、ちっとも寝ることもできないし…」と。

二人は、隣同士に座って、もちろん言葉で会話することはできないから、心と心で、話していたに違いない。「また失敗しちゃったね、お家で。学園よりもお家の方が好きなのに、どうしてもいつももうまくいかないんだろう？寂しくなっちゃうよね。こうして一緒に座っているとひとりぼっちを忘れることができるね」と。

二人は故郷を離れて暮らすさびしさを、そしてなかなかご両親に認めてもらえない辛い思いを慰め合いながら、ともに支え合いながら隣に座り続けていたに違いなかった。

それから20年、今明星学園では、積極的に障害の重い方々の間で「仲間づくり」が、支援職員の手を借りながら進んでいる。

ある方が、焼き肉を食べたいと言う。今までは、「じゃあ、職員と外出して、焼肉屋さんへ行こう」だったのを、「そうだ、焼き肉って仲間で食べるとおいしいんだよね。どう？一緒に学園の食堂で焼肉会をしたいって、仲間を誘ってみようよ」と提案するのだ。招待したい仲間は、どんなに障がいの重い方でも写真カード選択することができる。職員と一緒に招待状を作る、職員の助けを借りて、招待状を届けに行く。こんな時、彼らの表情には満面の笑みがこぼれている。



彼ら同士では、その多くがしゃべることができないのであるから、誘い合うことが難しい。が、その関係づくりに支援者が介在することができるならば、「友達に欲しい」、「仲間が欲しい」気持ちを形にすることができるのだ。

このようなプロセスを踏みながら、いかに障がいのある方々が、私たち支援者に支えられているだけでなく、それ以上に、彼ら同士で支え合っていることに私たちは気づかされるのである。20年前のA子さんとY男さんの関係のように。

しかし、考えてみれば、それは当たり前のことである。「自立」していくときには、必ず両親を越える「仲間」「友達」の存在がある。障がいがあってもなくても、その姿は変わらない。誰もが同じ道を歩いているのだ。

輪・和・わ! インフォメーション

日中活動支援棟 「わくわく」が完成します

調理・アート等の余暇活動スペース、相談支援を行う
為の相談室などが組み合わさった、日中活動を充実させる
スペースとなっております。4月1日より本格稼働いた
します。



♡♡♡結の街メール♡♡♡

ボランティア

今年度も企業・団体のボランティアの方々にご来
園いただき、美化活動や交流活動を行っていただき
ました。

- オムロン 様
- 日赤竜丘支部 様
- 松川赤十字奉仕団 様

寄贈

- 紙と包装材料「株式会社中村」様より
トイレットペーパー1920ロールを寄贈していただき
ました。
- 長野県医薬品配置協議会様より
消毒スプレー 8本 ハンドソープ 8本
使い捨てマスク 400枚
を寄贈していただきました。

ありがとうございました、
心より御礼申し上げます。

平成30年度（7月～2月） 明星学園・第二明星学園苦情・虐待（人権侵害）に関する通報事案

①苦情

明星学園：1件 第二明星学園：1件
対応）・苦情受付書作成 ・苦情内容の検討 ・対応を検討（報告書作成） ・提起者に報告

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：2件 第二明星学園：0件

③園内虐待防止、人権侵害等防止に関する取組

- ・虐待防止委員会の設置（啓発、受付、調査、改善策の検討）
- ・人材育成委員会による定期的課題提供の実施（意識向上、啓発）
- ・研修会への職員参加
- ・園内研修会の実施
- ・各クラスで人権擁護、虐待防止に関わる強化週間の設定



社会福祉法人 明 星 会

障害者支援施設

明星学園（生活介護事業）（施設入所支援事業）

第二明星学園（生活介護事業）（施設入所支援事業）

〒399-2561 飯田市駄科2250

TEL 0265-26-9456 FAX 0265-26-9094

ホームページ <http://www.myojo-gakuen.or.jp>

メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明星保育園

〒395-0807 飯田市鼎切石3928

TEL 0265-24-8020 FAX 0265-24-8008

ホームページ www.myoujou-hoikuen.com

メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

北方日の出ホーム

〒395-0151 飯田市北方61-7 TEL 0265-48-8070

北方のぞみハイツ

〒395-0151 飯田市北方68-7 TEL 0265-48-0885

みんな幸せになりたい
あなたも私も